

「雨だるま黄金井第2号」

中央線武蔵小金井駅前の商店街に雨水自動集水・散水式の植栽を設置

中央線沿線の武蔵小金井駅北口の駅前商店街に、雨水を利活用した環境装置が出現しました。

雨水浸透柵設置率世界一と言われる小金井市ですが、

商店街では共有の水がない、植栽の水やりや手入れも大変といった中、NPO がコーディネートして、

商店街のビルオーナーが設置場所を提供、建築の専門家が雨水集水装置を設計・設置、

新しいプランターを考える市民が空中プランターを考案、造園家が草花を植え込むという、

地域に住む人達の連携によって実現しました。

NPO法人グリーンネックレスでは高架化される中央線沿線における、地域に根ざしたエピソードを発掘し、市民に親しまれる高架橋周辺のまちかどの景観や環境をつくっていきたいと考え、その実現に向けて取り組んでいます。



プランターに花を植え付ける (小金井園・村越氏)



街路灯に掲げたシンボルフラッグ



ビルオーナーの清水氏



プランター設置



ビル屋上で雨水集水装置設置 (建築家・黒岩哲彦氏)